

豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター講演会 燃料電池車に適応する水素貯蔵材料の可能性について

日時：2014年11月19日（水）15:00～16:30

会場：豊橋技術科学大学 A-109 講義室

講演者：豊田中央研究所 主任研究員 三輪和利 氏

未来ビークルシティリサーチセンターでは、11月19日（水）に豊田中央研究所 主任研究員 三輪和利氏をお招きし、「燃料電池車に適応する水素貯蔵材料の可能性について」と題して、講演会を行いました。

三輪和利氏は、平成12年度から14年間にわたり豊田中央研究所において水素貯蔵材料の研究に携わり新材料の開発を行ってきました。今回は、その経験を基とした研究概要をご紹介いただくと共に、量子力学の観点から水素貯蔵材料の特性について詳しくご説明していただきました。また、今話題となっているFCVにおける今後の水素貯蔵材料の可能性についても貴重なご意見を伺いました。

この講演会には25名の参加があり、講演会の質疑応答においても活発な議論がなされ、講演会は盛況の内に終了しました。



■講演会の様子 1



■講演会の様子 2